

みえ市民活動・ボランティアニュース

2013

1

2012年12月25日発行  
通巻169号

# ひろげる つなぐ かえる

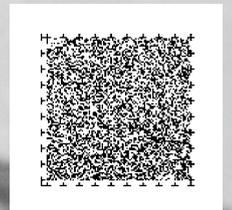


熱中手帖。-これまで×これから- vol.7

特定非営利活動法人 チャレンジスクール三重

理事長 玉村 典久

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。



# 熱中手帖。

-これまで×これから- vol.7

生徒にとって

「安心できる場所」であり

「再チャレンジできる場所」でありたい

特定非営利活動法人  
チャレンジスクール三重

理事長 玉村 典久

## 希望を持って自立していくための“もう一つの受け皿”をつくりたい

団体設立のきっかけをお聞かせください。

教師として20年ほど勤めていた県立高校で生徒指導をしていた時、不登校などの理由から高校を中退する生徒たちを見てきました。学校を辞めた生徒たちからは、「やっぱり高校卒業の資格が欲しい」という話を聞くのですが、彼らの選択肢は限られてしまいます。

一般的には「定時制高校」や「通信制高校」がありますが、日常生活や仕事との両立で、学校との関わりが薄くなってしまいがちです。学校という「枠」になじめなかった若者だからこそ、高校卒業の資格を取り、社会に希望を持って自立していくためのサポートが必要だと考えていましたので、彼らが安心して通うことができる“もう一つの受け皿”を作りたい、と始めたのが「チャレンジスクール三重」設立のきっかけですね。

学校という「枠」になじめなかった若者にとって、どんな場所が通いやすいのかと試行錯誤した結果、「一

般の学校」ほど厳しくはありませんが「学校」に近い今のスタイルを完成させました。各教科の時間割もありますし、遠足や修学旅行などの行事もあります。そこで、彼らは一度挫折してしまった学校生活にもう一度チャレンジします。その意味で、当校は「再チャレンジスクール」といえるかもしれません。

## 配慮の行き届いた、「安心」「再チャレンジ」できる環境づくり

チャレンジスクール三重はどのような場所でしょうか？

設立してから今年で8年目です。現在は10代～20代の生徒40数名が当校に通っています。私たちがいつも心がけていることは、生徒にとって「安心できる場所」であり「再チャレンジできる場所」であるということです。

生徒たちは、みんな「成長して自立できる場所」を求めています。人は、小さなチャレンジを積み重

ね成功体験を増やしていくことで、自信を付け次のステップへと進みます。だから私たちは、彼らが失敗をしても再チャレンジできる雰囲気や環境づくりを大切にしています。生徒たちには、当校で成功体験を積み重ね、卒業後も新しいステップへ挑戦する時に、自信を持って自立してほしいと思っています。

当校では、新入生一人に対して在校生一人を「バディ<sup>1</sup>」として付けています。当校は随時入学を受け付けているので、夏や秋など一年の途中に入学してくる新入生が結構多く、不安を抱えながら入学してくる若者も多いんですが、在校生のバディが寄り添うことで新入生に安心感が生まれ、周囲に溶け込みやすくなるんですよ。バディにとっても、新入生から頼られることで“使命感”と“責任感”が芽生え、それが自信につながるので、双方に良い効果が生まれるんです。「人は人の中で育つ」と言いますので、生徒たちにはできるだけ人との関わりを経験させたいですね。

私の経験上、学校の先生は学校という「枠」になじめない生徒に対して、このまま学校に残すべきか、それとも新たな道を歩ませるかを悩みますが、なかなか次の道を勧めることは難しいのではないかと思います。だからこそ、学校の先生には、私たちのような“もう一つの受け皿”があることをもっと知って欲しいですね。

また、不登校や高校中退で悩みを持つ方たち（保護者、本人など）の相談も受け付けています。相談の際には、当事者本人にとって最適な方法を一緒に考えさせていただいていますが、相談者からは「高校へ進学できなくても、こういう場所で生活しながら高校卒業資格を取れるんだ」と安心していただける、ということはあるんですね。

県内には、当校に通う若者たちと同じ悩みを抱えている若者が大勢いると思います。当校が一般の学校や地域と補完し合う関係をもっと構築できれば、学校という「枠」になじめなかった県内の若者たちをサポートできると考えています。

\* 1 バディ：二人一組でお互いをサポートすること。

## NPO が「教育の主体」として認められる存在へ

これからの方向性についてはいかがですか？

今後の目標は、「チャレンジスクール三重」が公的に認められた存在になることです。当校は正式な教育機関ではありませんので、今は私立の通信制高校と提携をして、高校卒業の資格を取れる仕組みにしています。しかし、「ダブルスクール<sup>2</sup>」で学費負担が増えるなど課題も多くあります。将来的には、ハードルはとても高いのですが、我々 NPO が国・地方公共団体や学校法人に並ぶ「教育の主体」として参入できればと考えています。

学校に行けなくなって辞めてしまった若者たちも、やはり学校に対する“こだわり”は持っているんですよ。そのこだわりをもっと形にして、生徒のモチベーションを高め、私たちの培ってきたノウハウを生かして、彼らの将来の自立に繋がる学校を作りたい。それが、彼らの気持ちに添ってあげられることかな、と考えています。

そんな思いから、現在 NPO を母体として正式な学校を設立する準備を進めています。もし実現すれば、不登校生や高校中退者など県内のより多くの若者たちに、よりふさわしい教育の機会を提供できると考えます。文部科学省の実践研究事業や三重県からの委託事業でノウハウの蓄積や人材の育成ができた今こそ、次のステップへの準備の年と考えて、スタッフ一同一丸となって取り組んでいます。

\* 2 ダブルスクール：「チャレンジスクール三重」と「私立の通信制高校」の二つの学校を指す。



授業の様子

### DATA

#### 特定非営利活動法人チャレンジスクール三重

住 所 515-2324  
三重県松阪市嬉野町 1430  
一志久居教育会館 2 階  
Tel & Fax 0598-42-8174  
E - mail tamamura@maroon.plala.or.jp

ホームページ <http://www.chmie.jp/>  
代 表 者 理事長 玉村 典久  
団体設立年月日 2005 年 4 月 1 日  
NPO 法人化年月日 2005 年 9 月 22 日  
会 員 数 15 名

# 助成金情報



国際



スポーツ



環境



市民活動



芸術



国際

## 今井記念海外協力基金

### 2013 年度 国際協力 NGO 助成対象事業募集

受付期間 1月15日(火) 必着

対象団体 アジアを中心とした開発途上国において援助・協力活動を行う非営利の民間団体で、以下の要件を満たすこと。

- ① 開発途上国における援助事業を主たる事業目的としていること
- ② 日本国内に事務所を置き、責任の所在が明確であること
- ③ 前年度の総収入額が原則 5,000 万円以下の団体であること
- ④ 活動実績が 2 年以上あること

対象活動 ① 教育・人材育成…学習援助、教師・指導者育成・研修など

② 保健衛生…基礎保健知識の普及、指導者育成・研修など

③ 医療…医療・診療、医療知識・技術指導など  
※詳細は HP 参照

助成金の額 総額 750 万円程度、1 案件当たり 50 ~ 100 万円程度。

応募方法 HP より助成金給付申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して事務受任者あて郵送。

問合せ先 (公益信託今井記念海外協力基金 事務受任者)

(特活) アジア・コミュニティ・センター 21 (ACC21)

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13

アジア文化会館 1 階

Tel 03-3945-2615 (社本) Fax 03-3945-2692

imai-kikin@acc21.org

http://www.imai-kikin.com/entry.html



スポーツ

## 第 1 回 スポーツ振興賞募集

受付期間 1月15日(火) 当日消印有効

対象団体 スポーツツーリズムやスポーツによるまちづくりに貢献した団体・グループ

表彰 ★スポーツツーリズム賞

① 国土交通省観光庁長官賞 (副賞 20 万円)

② 日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞 (副賞 10 万円)

★スポーツとまちづくり賞

① 経済産業省商務情報政策局長賞 (副賞 20 万円)

② 日本商工会議所 奨励賞 (副賞 10 万円)

③ スポーツ健康産業団体連合会 会長賞 (副賞 10 万円)

応募方法 以下の書類を作成し、送付。(必ず電子データを添付のこと)

① 本文 (下記内容を簡潔に記述、様式自由)

- ・「スポーツツーリズム」「スポーツによるまちづくり」を通じた産業・地域活性化の貢献、活動の経緯、活動組織の内容、特筆すべき点、今後の展開などの活動内容
- ・応募者の連絡先 (団体・グループ名、住所、Tel、Fax、担当者名とメールアドレス)

② 要約 (本文を 1,600 字程度でまとめたもの)

③ 写真 (説明文を付けること)

※詳細は HP 参照

問合せ先 (公社) スポーツ健康産業団体連合会 事務局

〒107-0061 東京都港区北青山 2-9-5

スタジアムプレイス青山 10 階

Tel 03-6434-9510 (寺山) Fax 03-6434-9511

jdy06327@nifty.ne.jp

http://www.jsif.or.jp/



環境



市民活動

## セブン・イレブン記念財団

### 2013 年度公募助成

受付期間 1月31日(木) 当日消印有効

#### [A] 地球温暖化対策助成

森林の保護・保全を通じたCO<sub>2</sub>吸収・固定活動を支援

対象団体 NPO法人、任意団体、一般社団法人

(任意団体の場合は3年以上の活動実績を有すること)

助成金の額 総額 4,000 万円、1 団体あたり上限 150 万円。

#### [B] 活動助成

環境市民活動に必要な経費を支援

対象団体 NPO法人、任意団体、一般社団法人

助成金の額 総額 5,000 万円、1 団体あたり上限なし。

#### [C] 自立事業助成

助成期間内に事務所費・人件費などの財政基盤を安定的に確保できる事業を構築し、自立した活動ができる環境NPOを目指す団体を支援

対象団体 「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつ3年以上の活動実績があるNPO法人。

助成金の額 1 団体あたり上限 440 万円、5 団体まで。

#### [D] 広域連携促進助成

同一テーマのもと、複数の団体による広域なネットワークで、地域の環境市民活動の効果を高めるプロジェクトを支援

対象団体 「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているNPO法人、または一般社団法人が代表となり、複数の団体で構成されているプロジェクトチーム。

助成金の額 1 プロジェクトあたり上限 200 万円、3 プロジェクトまで。

#### [E] 清掃助成 ※以下、助成内容は HP 参照

ごみのない環境をつくる活動を支援

#### [F] 植花助成

花咲く街並みをつくる活動を支援

応募方法 HP より専用申請書をダウンロードし必要事項を記入、指定の書類を添付して郵送。E-mail、Fax 不可。

問合せ先 (一財) セブン・イレブン記念財団 ○○助成係

〒102-8455 東京都千代田区二番町 8 番地 8

Tel 03-6238-3872 Fax 03-3261-2513

※○○には申請する助成名を記入のこと

oubo.13b@7midori.org

http://www.7midori.org/josei/index.html



芸術

## 明治安田クオリティオブライフ文化財団

### 「地域の伝統文化保存維持費用」助成

受付期間 1月31日(木) 当日消印有効

助成対象 A. 地域の民俗芸能 (民俗行事、民俗音楽を含む) 地域の民俗芸能の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体を対象とする。

# 三重県 NPO 法人活動実態調査報告 7

## II 調査結果

### (6) 協働

今月号は「協働」の中から、「自治体(県・市町)は期待に応じてくれているか」と「行政以外の主体との協働事業の実績」についての項目を抜粋して紹介いたします。

#### ■自治体(県・市町)は期待に応じてくれているか

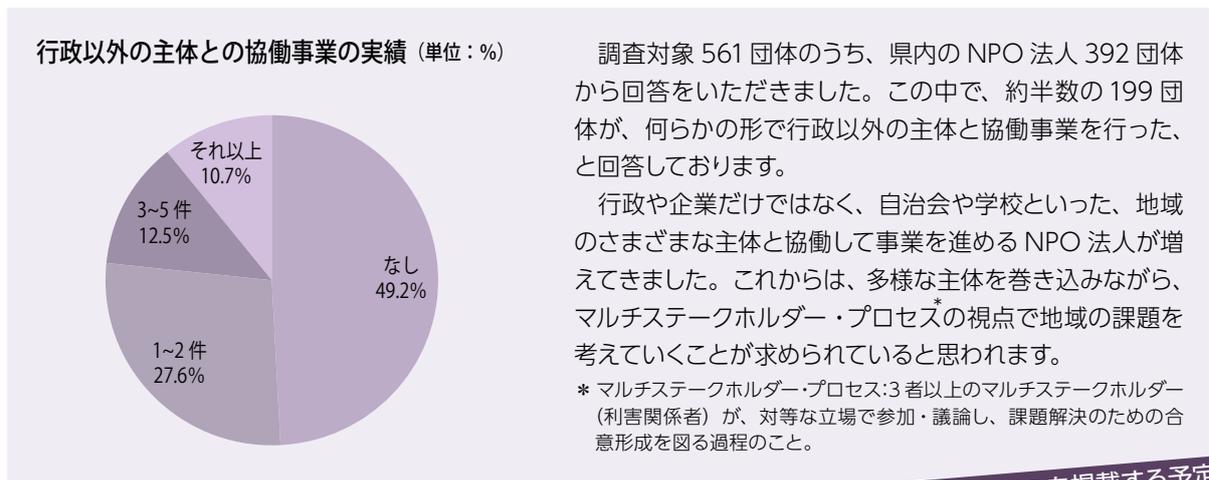
NPO 法人が多様な主体との協働・ネットワークを行う中で、特に県・市町といった自治体は、身近なパートナーの一つと言えるでしょう。

しかし、NPO 法人の側から見たときに、県・市町は NPO 法人の期待に応じているのでしょうか。NPO 法人が自治体に期待しているものとして、8つの項目で調査を行い、5段階で評価をしていただきました。



#### ■行政以外の主体との協働事業の実績

他の NPO や自治会、企業といった「行政以外の主体との協働事業」についても、調査をいたしました。



次号は、「中間支援団体」から抜粋したものを掲載する予定です。

B. 地域の民俗技術(伝統的製作技術、衣食住に関わる生活技術、伝統工芸を含む)

地域の民俗技術の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体を対象とする。

助成金の額 A. 地域の民俗芸能 1 件につき 70 万円を上限とする。

B. 地域の民俗技術 1 件につき 40 万円を上限とする。

応募方法 HP より申込書および推薦書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の資料を添付して簡易書留郵便

にて送付。

※詳細は HP 参照

問合せ先 (公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-9-1  
明治安田生命新宿ビル

Tel 03-3349-6194 Fax 03-3345-6388

HP <http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/index.html>

E-mail HP ホームページ

# 募集とご案内

## みえ発! ボラパックⅡ

### 2013年1月～3月に活動できる団体ボランティア募集!

未曾有の大震災から1年8ヶ月が経ち、岩手県山田町は震災後2度目の冬を迎えます。現在、現地のボランティア活動は、側溝清掃などは減少傾向にあり、仮設住宅や公共施設等での「サロン活動」が主流となっています。仮設住宅で生活されている方々や在宅被災者の方々が、ひととき災害から離れられる楽しく温かい時間を作るお手伝いをしませんか。文化や運動、教養を通じて被災地の復興に寄り添う仲間を下記のとおり募集します。

**日 時** 1月11日(金)～3月31日(日)のうち4日間

※バスの運行は参加される団体のご都合に合わせていただきます。ただし、他の団体の申込み状況によっては、ご希望に沿えない場合もあります

**対 象** ・東日本大震災復興支援に関心がある団体  
・東日本大震災への継続的な支援活動を考えている団体  
・スポーツ交流や文化活動等の指導が可能である団体

**応募方法** HPの「ボラパックⅡ団体申込メールフォーム」から申込み

**応募締切** 1月31日(木)  
※ご希望の出発日の45日前までに申込み

**問合せ先** みえ災害ボランティア支援センター  
〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 みえ県民交流センター内  
Tel 059-226-6916  
Fax 059-226-6918

**HP** <http://mvsc.jp/2012/11/23/7684/>

## 子どもの心に寄り添う

### チャイルドラインチャリティ映画会

人は日々の忙しさの中で「支え合って生きている」ということを見失いがちです。そんな人と人とのつながりが希薄になってきた社会の中でさまざまな問題にさらされている子どもたちは、今日も自分自身を大切にできずに生きています。

チャイルドラインMIEでは、今回『隣る人』と『ちづる』という2本の映画を通じて「子どもの心に寄り添うとは何か」を考えて頂く機会になればと上

映会を企画しました。また、この売上げの一部をファンド活動としてチャイルドラインにかけてくる子どもたちへの支援に使いたいと思います。どうぞご協力おねがいします。

『隣る人』(<http://www.tonaru-hito.com/>)

① 1月14日(月・祝) 11:00/14:00

**場 所** じばさん三重6階ホール

**問合せ先** 四日市まんなか子ども劇場  
Tel 059-351-6670

② 2月2日(土) 14:00/19:00

**場 所** 鈴鹿市男女共同参画センター

**問合せ先** ジェフリー鈴鹿  
(特活) こどもサポート鈴鹿  
Tel 059-383-1322

③ 2月8日(金) 10:30/13:30/19:00

**場 所** 松阪市コミュニティ文化センター

**問合せ先** (特活) 松阪子どもNPOセンター  
Tel 0598-20-1511

④ 2月16日(土) 13:30/18:30

**場 所** 熊野市文化交流センター

**問合せ先** (特活) 子どもステーションくまの  
Tel 0597-89-5633

⑤ 2月17日(日) 10:30/14:00

**場 所** 三重県人権センター多目的ホール

**問合せ先** (特活) 津子どもNPOセンター  
Tel 059-231-0012

『ちづる』(<http://chizuru-movie.com>)

① 2月17日(日) 14:00

**場 所** 四日市市文化会館第3ホール

**問合せ先** (特活) 体験ひろば☆こどもスペース四日市  
Tel 059-321-0961

② 2月24日(日) 13:30

**場 所** 三重県立くわな特別支援学校体育館

**問合せ先** (特活) くわな子どもネット  
Tel 0594-21-0501

③ 3月31日(日) 14:30/17:00

**場 所** 伊勢シティアラザ2階多目的ホール

**問合せ先** (特活) 三重みなみ子どもネットワーク  
Tel 0596-28-5692

**主 催** (特活) チャイルドラインMIE

ネットワーク  
〒514-0125 津市大里窪田町2709-1  
Tel & Fax 059-211-0024

**HP** <http://www.childlinmie.net>

**HP** <http://www.childlinmie.net/>

**HP** <http://www.childlinmie.net/>

**HP** <http://www.childlinmie.net/>

## 第7回手作り甲冑教室 事前説明会

### ～あなたも手作り甲冑を作って津まつり高虎時代絵巻に参加しよう!～

参加する前の事前説明会です。参加者の体験談あり、甲冑の着用体験もあります。お気軽にご参加ください。

**日 時** 1月27日(日) 13:30～15:30

**場 所** 津センターパレス地下1階

市民オープンステージ

**対 象** ・完成した甲冑を着用して津まつり時代絵巻およびその他の催しに積極的に参加することができる方

・2～9月まで月2回ほど集まって作業のできる方

・最後まで根気よく作業を続けて完成できる方

・高校生以上の方

※応募者多数の場合は選考による

**応募方法** 氏名・年齢・住所・Tel・メールアドレスを明記のうえ郵便、Fax、E-mailにて申込み。

**応募締切** 1月23日(水)

**問合せ先** (特活) 三重ドリームクラブ  
〒514-0027 津市大門7-15

津センターパレス3階  
Tel 059-271-9978 (加藤)

Fax 059-255-2257

**HP** [qzo1341004@yahoo.co.jp](mailto:qzo1341004@yahoo.co.jp)

**HP** [qzo1341004@yahoo.co.jp](mailto:qzo1341004@yahoo.co.jp)

## 「新しい寄付の形とその可能性を考える」セミナー

### 「3年」で「9万人」から「9.5億円」の寄付が集まった仕組みから学ぶ

「寄付を集めるために必要なこと」「どんな団体に寄付が集まるのか」など、インターネットを通じて多くの寄付が集まっている「ジャスト・ギビング」の仕組みや、三重県内で始まった市民活動を支える新しい寄付の動きなどを事例として考えます。

①講演「インターネットを活用した寄付の新しい形とその可能性」

**講 師** 佐藤 大吾氏

(一財) ジャスト・ギビング・ジャパン 代表理事

②三重県の新しい寄付の仕組み紹介

・市民活動応援☆きらきら基金

・(一財) ささえあいのまち創造基金

**日 時** 1月29日(火) 13:30～16:00

**場 所** 三重県四日市庁舎 大会議室

(四日市市新正4-21-5)

**対 象** 「寄付をしたい」「寄付を集めたい」と思っているNPO・企業の方、テーマに関心のある方 など

**募集人数** 100名(先着順)

**参加費** 無料

**応募方法** HPから申込み。Fax、E-mailの場合は、氏名、所属(会社名・学校名等)、住所、Tel・Fax、メールアドレスを連絡。

**応募締切** 1月23日(水) 必着  
**問合せ先** 三重県環境生活部男女共同参画・NPO課  
Tel 059-222-5981(川端・寺田)  
Fax 059-222-5984

**✉** seiknpo@pref.mie.jp  
**HP** <http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/>

### 「ネットワーク強化を考えるセミナー」

## 多様なニーズに配慮した避難生活の支援とは？

### ～東日本大震災避難所支援の現場を実例として～

災害発生時には各地で避難所が開設されますが、開設するだけでは命を守るのに十分ではありません。特別な配慮を必要とする方(外国人、障がい者、アレルギー患者、妊産婦、高齢者など)をどのように支えていければいいのか。東日本大震災の際、被災地の避難所を巡回して多様なニーズを把握し、専門性を持ったNPOや関係機関につなぐ活動を展開した「被災者をNPOとつないで支えるプロジェクト」の活動実例をもとに、避難生活の支援について考えます。

**講師** 田村 太郎氏  
ダイバーシティ研究所代表理事/  
つなプロ代表幹事

**日時** 1月30日(水) 10:00～12:00  
**場所** みえ県民交流センター 交流スペース(アスト津3階)

**対象** NPO、社会福祉協議会、企業、行政など(今回のテーマに関心のある方)

**募集人数** 60名(先着順)

**参加費** 無料

**応募方法** HPから申込み。Fax、E-mailの場合は、組織名、氏名、住所、Tel、メールアドレスを連絡。

**応募締切** 1月25日(金)

**問合せ先** 三重県環境生活部男女共同参画・NPO課  
Tel 059-222-5981(川端・寺田)  
Fax 059-222-5984

**✉** seiknpo@pref.mie.jp  
**HP** <http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/>

### ～地域文化を活用した集いの場づくり～

## みえアート&カルチャー

### トークセッション

### 「小布施と伊勢」開催

地域の文化コンテンツをどのように活用するかは、文化だけでなく観光・地域づくりにおいても大きなテーマです。このセッションでは、地域の図書館を「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」として、様々な試みを先進的に実践している「まちとしょテラス」の事例と、デジタルアーカイブ活用アプリ「伊勢ぶらり」の事例を紹介しながら、文化コンテンツを地域づくりに生かすためのヒントをご参加の皆様と一緒に考えます。

**日時** 2月1日(金) 15:00～17:00

**場所** 津あけぼの座スクエア  
(津市栄町1-888 四天王会館)

**出演** 花井 裕一郎氏  
演出家・まちとしょテラス  
(長野県小布施町立図書館) 前館長  
岡野 裕行氏  
皇學館大学文学部国文学科助教

**対象** 地域づくり、観光行政担当者、まちづくり団体の方、文化施設職員(図書館、博物館等)など、ご興味がある方

**募集人数** 100名 ※先着順

**参加費** 無料

**応募方法** Tel、Fax、E-mailのいずれかで、氏名・所属・Telまたはメールアドレスを連絡。

**主催** 三重県環境生活部文化振興課  
三重県立図書館

**協力** (特活)パフォーミングアーツネットワークみえ

**問合せ先** 三重県環境生活部文化振興課  
Tel 059-224-2233(加納)  
Fax 059-224-2408

**✉** bunka@pref.mie.jp  
**HP** <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/app/details/index.asp?cd=2012120039>

### 「みえ不登校支援ネットワーク」…つながる安心と育ち ～コーディネート窓口と不登校相談のご案内～

当ネットワークは、県内の不登校を支援する40以上の機関・団体が行政・民間をこえて集まり、当事者の方々がフィットした支援を受けられることを目指して活動しています。今年度は、担当のコーディネーター(臨床心理士)が、みなさまに寄り添い、お話を聞かせていただいた上で、お子様の支援に相応しいと思われる機関・団体をご案内しております。(継続してのご利用も可能です)また、お子様との向き合い方などのご相談を希望される場合は不登校相談がごさいます。

○コーディネート窓口/毎週月曜日  
13:00～17:00(50分 無料)

○不登校相談/平日 9:30～17:30  
(2時間 無料)

※どちらも電話での完全予約制

**場所** 三重シュールおよび津ビル2階  
会議室(津市広明町328)

**対象** 不登校の子どもの保護者、教育関係者など

**応募締切** 2月上旬まで

**問合せ先** みえ不登校支援ネットワーク  
事務局:(特活)フリースクール  
三重シュール  
Tel 059-213-1116  
(平日 9:30～17:30)

**HP** <http://www.mie-futoko.net>

**✉** E-mail **HP** ホームページ

#### 【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1)フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2)E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

#### ホームページ 原稿用

#### フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail [center@mienpo.net](mailto:center@mienpo.net)

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

## みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで  
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

## NPOのための なんでも相談会

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は? 職員を雇う時の手続きは? 助成金をとりたいけど... など、NPO に関するご相談に応じます。

※抽選のため、相談日の1週間前にはお申込みください。

【日 時】 2013年1月18日(金)

① 16:00 ~ 17:00 ② 17:00 ~ 18:00

【対 象】 NPO 法人設立を考えている団体や個人、  
NPO・中間支援センタースタッフ、  
NPO・市民活動に関心のある市民など

【相 談 員】 特定非営利活動法人みえ NPO ネットワークセンター  
理事

【場 所】 みえ県民交流センター(アスト津 3 階)

【お申込み先】 みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel 059-222-5995 Fax 059-222-5971  
E-mail center@mienpo.net

認証した特定非営利活動法人  
(2012年11月10日~2012年12月9日認証分)

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地 ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

- ① 特定非営利活動法人 四日市 NPO 協会
- ② 四日市市営生町 1200 特定非営利活動法人市民社会研究所内
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、文化、環境、災害、地域安全、人権、国際、男女、子ども、情報化社会、科学技術、経済活動、職業能力、消費者、その他、観光の振興、農山漁村・中山間地域、地域防災活動、障がい者の自立と共生社会、多文化共生社会
- ④ 2012年11月19日
- ⑤ 代表理事 松井 真理子

- ① 特定非営利活動法人 まほろば
- ② 津市高茶屋小森町 1242-10
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、文化、環境、人権、国際、男女、子ども、職業能力、その他
- ④ 2012年11月22日
- ⑤ 理事長 佐野 和重

- ① 特定非営利活動法人 もりずむ
- ② 津市垂水 1389 番地 1
- ③ 保健、環境、職業能力、観光の振興、農山漁村・中山間地域
- ④ 2012年11月22日
- ⑤ 理事長 藤崎 昇

- ① NPO 法人 三重すまい・くらし相談室
- ② 四日市市久保田二丁目 10 番 13 号 杉善ビル 106 号室
- ③ 社会教育、まちづくり、文化、環境、地域安全、男女、子ども、情報化社会、経済活動、職業能力、消費者、その他
- ④ 2012年12月7日
- ⑤ 理事長 川北 睦子

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細 6 ページ)

## みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中央大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇学館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター)〔桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野) / 三重県米町庁舎(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県鳥羽パート情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場 / 各市町中央公民館など



日頃受けている相談内容などから順次、紹介していきます。

**Q** 「NPO 法人になるのがいいのは、どういう団体ですか?」

**A** たくさんの人の「共感」を得て、いろいろな形の「参加」によって、団体を運営するときは、NPO 法人になるのがいいと思います。

「定款」で決めた団体内の「自治のルール」によって、団体での責任の所在をよりはっきりさせ、法人格を持って行動することが必要になったとき、いろいろある法人格のなかでNPO 法人を選ぶには、ちゃんと理由があります。

法律の規定によって、「特定の人や団体の利益を追求せず」、「世の中の役に立ち」、「政治・宗教を主たる目的としないで」、「複数のいろいろな分野の活動ができ」、「構成メンバー10人以上の名前を公開し」、「毎年、役員名・決算・事業報告を公開し」、「暴力団を排除し」、「入会・退会の自由がある」のがNPO 法人です。

団体の主旨・目的や活動に「共感した人たちが」が、ちょっとした「ボランティア」や「寄付」、「もの」や「場所」の提供という形での参加や、「会員として運営に関わる」形での参加がしやすいという特徴があります。

共感してくれた、たくさんの人たちのいろいろな参加を呼び込み、活動に活かすことで、思いを社会で形にしたい団体は、NPO 法人になるのがいいと思います。

三重県が認定・仮認定した特定非営利活動法人  
(2012年11月10日~2012年12月9日認定・仮認定分)

① 認定・仮認定 ② 認定・仮認定日 ③ 認定・仮認定の有効期間 ④ 法人名  
⑤ 主たる事務所の所在地 ⑥ 活動分野 ⑦ 代表者

- ① 仮認定
- ② 2012年11月30日
- ③ 2012年11月30日~2015年11月29日
- ④ 特定非営利活動法人 ときわ会藍ちゃんの家
- ⑤ 伊勢市常盤 2 丁目 10 番 12 号
- ⑥ 保健、まちづくり、環境
- ⑦ 理事長 藤田 慶子



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

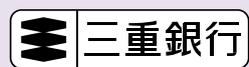
(Monthly Selection)

### ◆ 社会貢献活動年間報告書 2011

編集・発行: 全日本社会貢献団体機構  
AJOSC (All Japan Organization of Social Contribution)  
編集協力: 株式会社エム・シー・イー  
発行日: 2012年7月20日

## 協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。